

## 2 各種委員会報告

### 2.1 図書委員会

2008年度は委員会を4回開催した。各回の審議事項は下記のとおりである。

第1回(4月28日):①2008年度各種委員会員の委嘱について

第2回(6月24日):①明治大学まんが図書館(仮称)の設置について②各種委員会委員の委嘱について③自己点検・評価報告書について④2009年度教育・研究に関する年度計画書について⑤特別資料の選定について⑥特任教員の図書館図書費の使用について

第3回(10月31日):①2009年度予定経費要求の内容②明治大学図書館利用規程の制定③研究用基礎資料/研究用図書費の金額範囲変更について④紙以外のメディア資料の購入について⑤国際交流センター運営委員会の代理出席について

第4回(3月2日):①2009年度図書館図書費配分について②2009年度研究用図書の申込締切日について③2009年度図書館特別資料の募集について④2009年度研究用基礎資料の募集について⑤2010年研究用雑誌・新聞新規購入の募集について⑥『図書の館外貸出し及び複写に関する内規』改訂について⑦研究用メディア資料の購入選定基準について

以上に基づき実施された政策の特記事項として、以下が挙げられる。

明治大学まんが図書館(仮称)の開設着手:第2回①

特任教員の専任教員と同等の図書館図書費使用,およびその予算措置:第2回⑥,第4回①

研究用メディア資料の図書館研究図書費での購入:第3回④,第4回⑦

貸出冊数/期限拡大を主眼とした図書館利用規程/内規の改訂:第3回②,第4回⑥

### 2.2 電子資料委員会(旧新聞・雑誌委員会)

2008年度より,新聞・雑誌委員会の発展として,新聞・雑誌に加え電子ジャーナル,データベース,電子ブック等各種電子資料の選定および収集政策方針を決定する機関として,本委員会が発足した。

第1-3回各委員会で,電子購読を優先することを確認したうえで新規研究用・学習用雑誌およびバックナンバーの選定を行ったほか,内規,電子資料申込方法を検討の上決定した。また,e-bookの選定ガイドライン策定に向け議論したが,次年度も継続して検討することとした。

### 2.3 特別資料選定委員会

第1回募集後,5月16日に第1回委員会が開催され審議を行った。その結果,応募資料6点の中から2点を選定し,うち優先順位1位とされたダンテ「神曲」を図書委員会に推薦し,購入した。この購入で予算の大半を執行したため,第2回募集は行わなかった。

### 2.4 アフリカ文庫選定委員会

11月に委員会を開催し,欧米出版のアフリカ関係図書,アフリカ出版図書の新刊から選書したほか,アフリカ関係購読中止雑誌を決定した。

また,2008年度は5月1日にセネガルのシェイク・アンタ・ディオプ大学エル・ハジ・ムボッチ教授を招いて「アフリカが直面する課題」と題した講演会,10月30日にレインメーカー・ケニア代表リリアン・オデロ氏を招き「ケニアの世紀と部族紛争」と題した講演会をそれぞれ開催した。

### 2.5 ケベック文庫選定委員会

7月に委員会を開催し,選書を行い,新刊図書のほか,古書からも選書した。

ケベック関連図書は,発注しても入手できないことが多く,また出版情報があまり得られないことが課題となっていた。このため8月事務局担当者がケベック州ケベックシティを訪問し出版状況の調査を行った。この成果から次年度はこれまでの日本国内書店経由のルートに加え,直接購入など新しい方法でも購入を試みる計画である。

## 2.6 江戸文藝文庫選定委員会

4月28日に第1回の委員会を開催し、前年度購入した資料の検分ならびに2008年度の課題・運営について協議を行った。その後は主に、メーリングリストによるオンライン会議の形で協議・選定を行った。

本年度に購入した資料は以下9点である。

- ・石川雅望 [著]『しみのすみか物語』文化 2
- ・曲亭馬琴作・歌川豊國畫『小鍋丸手石入舩』文化 5
- ・戀川春町作画『芋太郎屁日記咄』[江戸後期?]
- ・櫻川慈悲成作・歌川國直画『口豆飯茶番樂屋』文化 13
- ・岳亭春信作・一恵齋芳幾画『滑稽江戸久居計』文久元序
- ・水原玉藻畫圖『繪本復仇英雄録』弘化 5 序
- ・山東京傳作・北尾重政画『怪談摸摸夢字彙・化物虚字之部』享和 3
- ・志満山人作・歌川國信画『女丹前』文政 5
- ・曲亭馬琴著・豊國画『猫奴牝忠義合奏』文化 2 序

## 2.7 蘆田文庫選定委員会

例年のとおり、定例の委員会の開催は最小限にとどめ、相互の連絡による機動的な選定活動を行った。本年度の特記すべき収集資料をあげる。

- ・古今沿革地圖(立原翠軒自筆来浄書本)
- ・地球説略 3 卷 / イ理哲著述 ; 箕作阮甫訓點
- ・松前蝦夷地繪圖(寛政元年写)
- ・世界萬國地球圖 / 稻垣光朗

なお、蘆田文庫新収資料については、図書館紀要「図書館の譜」に目録を随時掲載する予定である。

## 2.8 日本近代文学文庫選書委員会

年度の初めに委員会を開催し、2008年度の選書方針・方法を決め、以後、資料の選定を、7月、8月、12月に行い、16点を購入した。そのなかで特記すべき収集資料数点を以下に記す。

- ・泉鏡花『海戦の餘波』(博文館, 1894)
- ・石川啄木『汗に濡れつつ』(函館啄木会, 1925)
- ・芥川龍之介『春服』(春陽堂, 1923)
- ・堀口大学訳『マリイ・ロオランサン詩画集』(昭森社, 1936)
- ・三島由紀夫『岬にての物語』初版(櫻井書店, 1947), 同再版(櫻井書店, 1949), 購入した資料は次年度に中央図書館ギャラリー, 和泉図書館内で展示・公開する。

## 2.9 図書館基礎資料選定委員会

2008年12月10日に委員会を開催し、選定ガイドラインの改訂(内容重複部分の整理)および資料の選定を行った。その結果選定候補4件全点の購入を決定した。選定内容は別項「図書館基礎資料購入一覧」の通りである。

## 2.10 ホームページ編集委員会

2008年4月、新しい図書館ホームページがスタートした。これを契機に上部委員会である「図書館ホームページ委員会」が「図書館広報委員会」に改組されたことを受け、ホームページ編集委員会の役割について再検討した。その結果、ホームページは図書館の広報活動の中核であり、これからも開かれた図書館をコンセプトとして活動していくことを再確認した。

本年度の活動の骨子は(1)ユーザビリティテストの途中経過及び結果を受けてのホームページの改善(2)オンラインレファレンスとの連携であった。委員会は第1回(11月11日)、第2回(3月23日)の計2回の会議を開催した。第1回ではユーザビリティを研究課題にしている2名の

職員から報告があり、ホームページ改善のための 10 項目の修正提案があった。またオンラインレファレンスが 12 月に稼働することに伴い、トップページにシステムへのリンク作成と FAQ・リンク集の連携を検討した。第 2 回はユーザビリティテストの詳細な報告がなされ、第 1 回の会議のあとに改善したホームページについて、改善後の 2 回目テストの結果報告が行なわれた。オンラインレファレンスについては、日々更新していく部分のデータ更新・管理をナレッジサービスにシフトしていくことにした。

## 2.11 図書館紀要編集委員会

第 13 号を刊行した。特集〈図書館の教育力〉をテーマに取り上げ、座談会の記録と 2 本の報告を掲載した。

好評を博している世界の図書館、アフリカ文庫講演会記録、蔵書の玉手箱、江戸文藝文庫のシリーズは今号も継続されている。

図書館の蔵書を紹介する貴重な論文である特別資料紹介を 3 本、自主研修グループの報告が 1 本、投稿論文・報告も 5 本あり多彩な号となった。

A5 判,190 頁,2009 年 3 月 31 日刊行。

## 2.12 「らいぶ」編集委員会

第 15 号を刊行した。昨年に続き年 1 回の発行としたため、新入生向けの内容とし、3,000 部印刷した。主要記事は、図書館長からのメッセージ、教員からの図書館をめぐるエッセイ、先輩から贈る新入生への図書館活用アドバイス、図書館を利用するための基本用語集、2008 ベストリーダーという構成で、本紙の主旨である「図書館からの学部生向け広報誌」をいかし、可能な限り平易な読み物に仕上げた。A4 判,12 頁,2009 年 3 月 31 日刊行。